

「命・絆を考える講座」

両親に感謝し、自分を大切に！

10 月 23 日に「命・きずなを考える講座」を行いました。この講座では、お二人の助産師さんをお招きし、男女別の教室で、それぞれの性の立場での必要な知識や、妊娠と出産などについてのお話をお聞きしました。誰にも聞けずに悩みそうなことをストレートに話してもらったり、妊婦の疑似体験や赤ちゃん人形の抱っこで親としての苦労を学んだりしました。自分の体を大切にし、誰からも祝福してもらえるような妊娠をするために、先を読んで責任ある行動がとれるようになってほしいという言葉が印象に残りました。

学習後の生徒の感想を一部載せましたので、お読みください。

- 自分が知らなかった新しいことや、自分の将来に大切なことをたくさん学ぶことができました。自分が今ここに生きているのも、今までお母さんやお父さんが命をつないでくれたからだと分かりました。自分がつなぐ番になったら、今日学んだことを大切にしていきたいと思います。(女子)
- 今日の講座で自分の知らなかったことをたくさん学ぶことができました。将来経験するかもしれないことの注意すべき点などがよく分かりました。難しい言葉や、いまいち想像することができないところがあったので、自分で調べてみるのも大切だと改めて感じました。新しい知識を得られた良い時間となりました。(女子)
- ちゃんとした知識を身に付けていなかったのが、今日の講座はとても勉強になりました。未来のために今から自分の体を大切にしていきたいと思いました。また、注意すること、気を付けることを詳しく聞くことができて、とても良かったです。(女子)
- 赤ちゃんの重さを実感して、お母さんは毎日ずっと抱っこしていたと思うと、すごいと思いました。月経には人それぞれの症状があって、無理し過ぎたらダメなことが分かりました。自分の体を大切にしていきたいです。(女子)
- 私の知らない知識を今日一日でたくさん知りました。私の思っていた赤ちゃんよりもずっと重くて、ずっとかわいかったです。妊娠についてはドラマや授業の知識でしか得なかったけど、助産師さんの話を聞いて、ドラマみたいにはいかないし、もっと大変だと分かりました。母が私をどんなに苦勞して、愛して大切に育ててくれたのか、改めて気付きました。私が今ここにいるのは当たり前じゃないと知りました。(女子)
- 自分の体や、何をしたらどんなことが起きるのか、赤ちゃんを育てていくにつれて、私たちはどうしたらよいのかなど、自分の体を守ることが大切だと分かりました。そして、しっかりと断るという気持ち、何より軽い気持ちで性について行動してはいけないことなどを学びました。(女子)
- 人の体は全て大切だと改めて感じました。何も同意がなく勝手にしてはいけないし、特にあんな大きい子をお腹の中に抱えて生活をしたり、産んだり、育児したりで、ものすごくキツイ思いをして誕生するんだな～と思いました。(男子)
- 今日の講座で分かったことは、相手のことを考えるのが大切だということです。特に、赤ちゃんの抱っこの仕方をよく学んだと思いました。(男子)



赤ちゃん人形を見るまなざしは、
すでに母親のよう...



赤ちゃん人形の抱っこや妊婦体験は、
男子にとっては貴重な体験でした

- 自分は今回の授業で、先を読んで行動することが印象に残りました。誰かを妊娠させるのは、自分にその責任があることが分かり、先を読んでことを行動していきたいです。(男子)
- 今回の講座で知れたことは、身近なことだったりまだ先のことだったり、本当にためになるお話でした。今回学んだ「先を考える」「相談」「同意」などをしっかりと心がけて生きていこうと思いました。(男子)
- 将来命と向き合う場面があった時、自分の行動が正しいことかをしっかりと考え、生きていこうと思いました。そして、いろんな話しぶり印象があることや、あまり知らない内容をたくさん知れたのでとてもよい学びになりました。(男子)

寺子屋開始2週間 実施時間を4時まで延長

前号でお知らせしましたように、10月22日から寺子屋（放課後自主学習）が始まり、これまで毎回10人前後の生徒が参加していました。1人で黙々と学習に取り組む生徒も、仲間とともに学習を進める生徒も、あっという間に時間が過ぎてしまうようでした。30分程度では短い様子がうかがわれることから、来週より4時まで学習できるようにします。もちろん、途中退室可は変わりありません。



先日、放課後に総合事務所に立ち寄った際、図書室で黙々と学習している3年生を見かけました。もちろん自宅で学習している生徒も大勢いると思います。寺子屋や総合事務所の図書室も含めて、自分に合った学習環境で、自主学習を進めていってほしいと思います。

家庭学習充実生活習慣の改善から メディアコントロール週間 11/7(木)からスタート

今年2回目のメディアコントロール週間が11月7日から始まります。6月の1回目は昨年までの「テスト前の実施」ではなかったため、昨年よりも数値としてはよくありませんでした。昨年との比較はともかく、今年6月との比較で、どう変わっているのか、関心が高いです。

先日、生徒には改めて「自律」の大切さを話しました。自分自身で自律をしていくためには、先のことを見据え、上進連テストまであと何日、次の単元テストまで・・・と考えることが、易きに流れる心を律するモチベーションになると伝えました。11月11日からの週には、生徒に入試までの日程や手続きについて説明する時間を設定し、漠然としていた入試が身近に感じられるようになります。

きちんとした家庭学習を進めるためには、きちんとした生活習慣が必須となります。このメディアコントロール週間を、毎日の生活を受検モードに変えるきっかけにしたいと思います。ぜひ御家庭でもお子さんの自律心を高めるはたらきかけをお願いします。

メディアの1日平均 視聴時間の人数	R6 6	R5 11	R5 6
0～30分	0	3	4
31分～60分	1	10	11
61分～90分	12	14	12
91分～120分	7	7	10
121分～150分	11	5	4
151分～180分	6	5	0
181分以上	10	3	6
1日平均視聴時間(分)	140	95	92

下記内容を守れた生徒の割合		R6,6	R5,11	R5,6
メディアの約束	パーフェクト	26%	55%	55%
	5～6日○	32%	26%	34%
23時までに就寝	パーフェクト	40%	26%	32%
	5～6日○	30%	30%	28%
睡眠の約束	パーフェクト	49%		
	5～6日○	36%		
下記メディアを5日以上使用した生徒の割合		R6,6	R5,11	R5,6
① テレビ・DVD		28%	28%	32%
② ゲーム		17%	23%	32%
③ ネットで動画視聴		79%	55%	55%
④ メッセージの送受		38%	21%	23%
⑤ その他		4%	6%	6%

学級づくりを進めるアディショナルタイム

2学期に入り、新たに「アディショナルタイム」を行っています。これは終学活後に30分間、学級内の人間関係を良好にする活動を行うために設定した時間です。これまで2回ありましたが、3年生はいずれも2学期に入って力を注いでいる「クラス会議」を行いました。クラス会議では、生徒や教師の課題や悩みに対して、1人1人が自分事として捉え、真剣にその解決策を考えました。クラス会議を通して、誰もが自分の考えを話せること、仲間の意見を尊重することにより、誰もが安心して過ごせる学級づくりを進めていこうと考えています。



盛り上がりを見せたダンス発表会

10月に入ってから、体育授業の一環として、外部講師を招いてダンスを行ってきました。その成果を披露するダンス発表会を昨日行い、とても盛り上がりました。外部講師による授業は今年で3回目で、ちょうど3年生は毎年指導を受けてきた学年です。講師も3年間の集大成と位置づけ、大きな期待を抱いて指導をしてきました。ダンスの構成は今までよりもやや難しく、戸惑いを感じた生徒もいたと思いますが、本番に強い生徒達は見事に演技切りました。

学年を問わず、全校生徒のパフォーマンスに、会場はとても盛り上がりました。

ダンス発表会の3年生の動画を、下記アドレスで見ることができます。11月11までの限定ですので、御承知ください。

https://drive.google.com/drive/folders/1l6wRsaYSzURRXZ9Jz8sNNtd8vVd75m0H?usp=drive_link



(2組)



(1組)



「授業中にねむくなってしまう」という悩みの
よき解決法は…？(10/22の1組)



「やるべきことが後回しになってしまう」という
悩みのよき解決法は…？(10/22の2組)

板倉ふれあいまつり情報

十一月三日に行われる板倉ふれあいまつりには、三年生を中心に、全校生徒の有志を募って参加をします。十月二十五日にはまつりのゲームランドの宣伝用ポスターを、実行委員の下絵を基に学年全員が作りました。

お子さんが参加する場合は、是非お立ち寄りいただき、地域の一員としてまつりに参加する様子を見てください。御家庭とは違う一面が見られるかも知れません。



組ごとにポスターを作りました



1組の合唱「ヒカリ」



2組の合唱「春に」



2組



健闘を讃え合う
指揮者の2人



演奏を終え、ほっと一息・・・

満足感いっぱいの音楽祭終了後の表情



1組



2組



1組

担任と生徒の思いあふれる当日の黒板

3年生の合唱後、学年を超えた多くの保護者の皆様や職員から、3年生の発表を讃える声を聞き、私達3年部職員もうれしく思いました。改めて、この学年の生徒たちの大きな成長と、無限の可能性を実感しました。大きな行事はこれで最後となりますが、残り5か月となった中学校生活を存分に楽しつつ、受験勉強に力を注がせたいと思います。